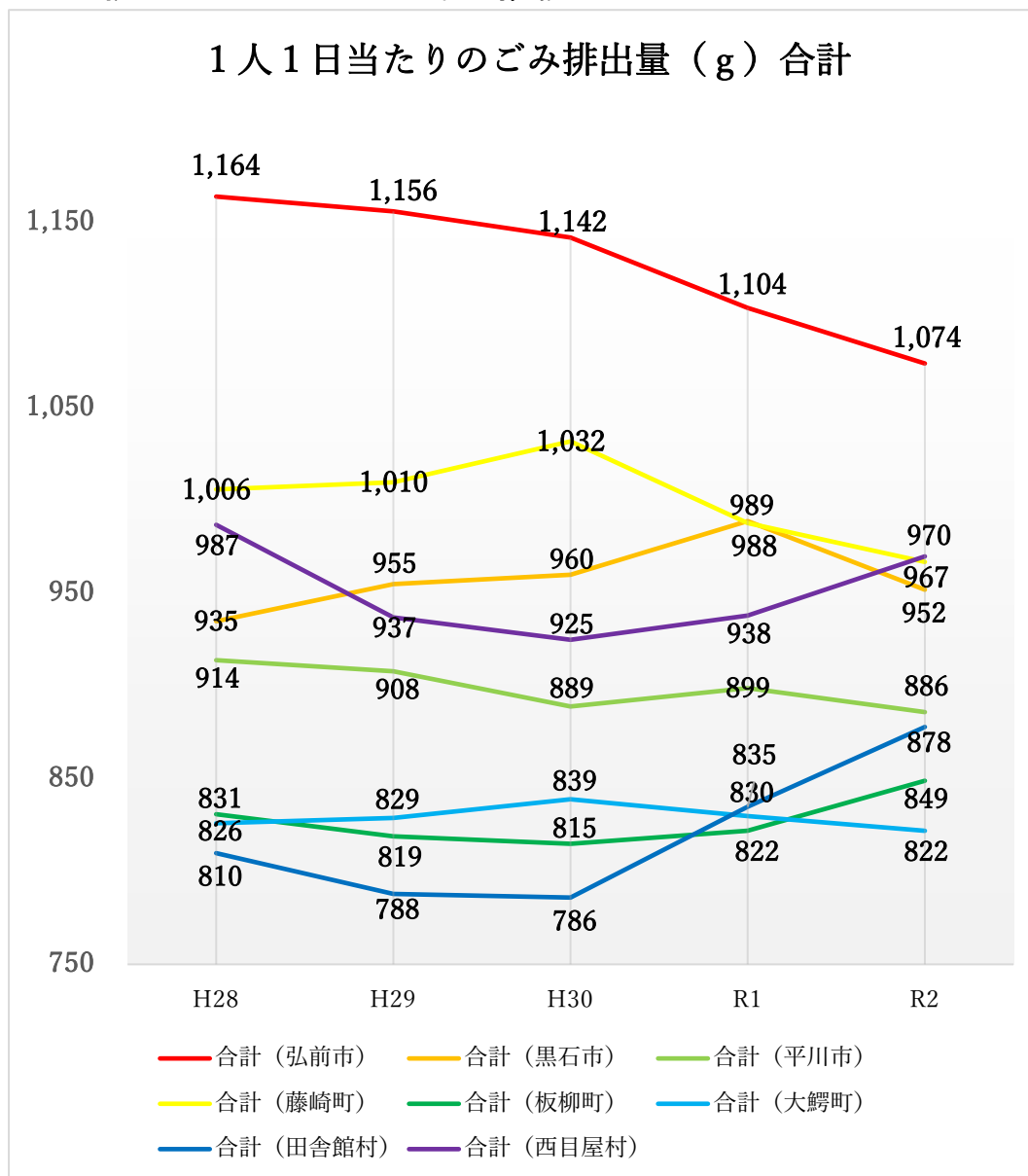
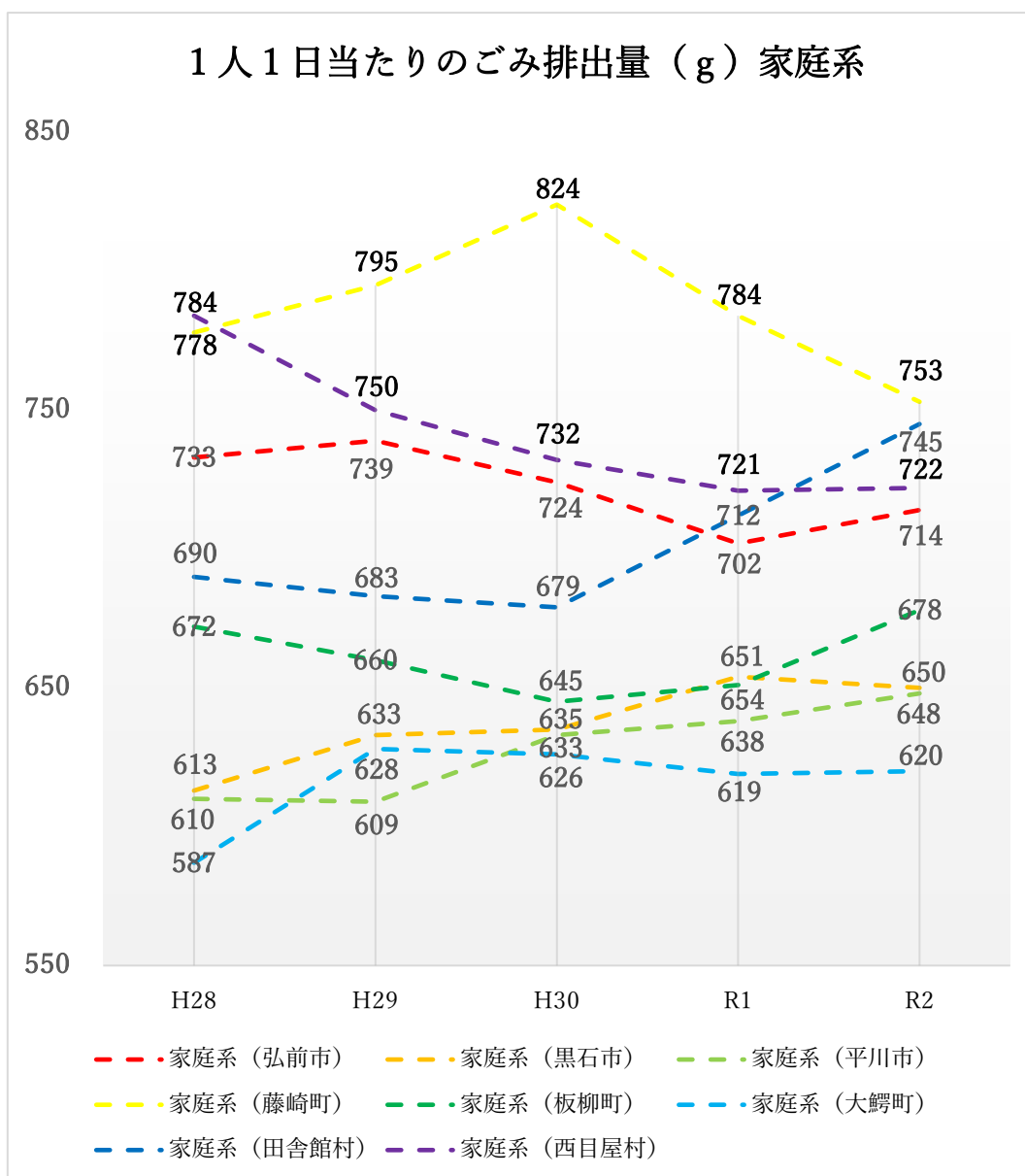


## 弘前圏域自治体のごみの排出状況について

## 1. ごみ排出量及びリサイクル率の推移



- ・弘前市が突出して多いが、近年の減少幅が大きい。
- ・黒石市は令和元年度まで増加傾向で推移していたが、コロナ禍の影響を受けてか、令和2年度で減少に転じている。
- ・平川市は増減の繰り返しはあるが減少傾向で推移している。
- ・藤崎町、大鰐町は令和元年度から減少傾向にある。
- ・板柳町、田舎館村、西目屋村は増加傾向で推移している。



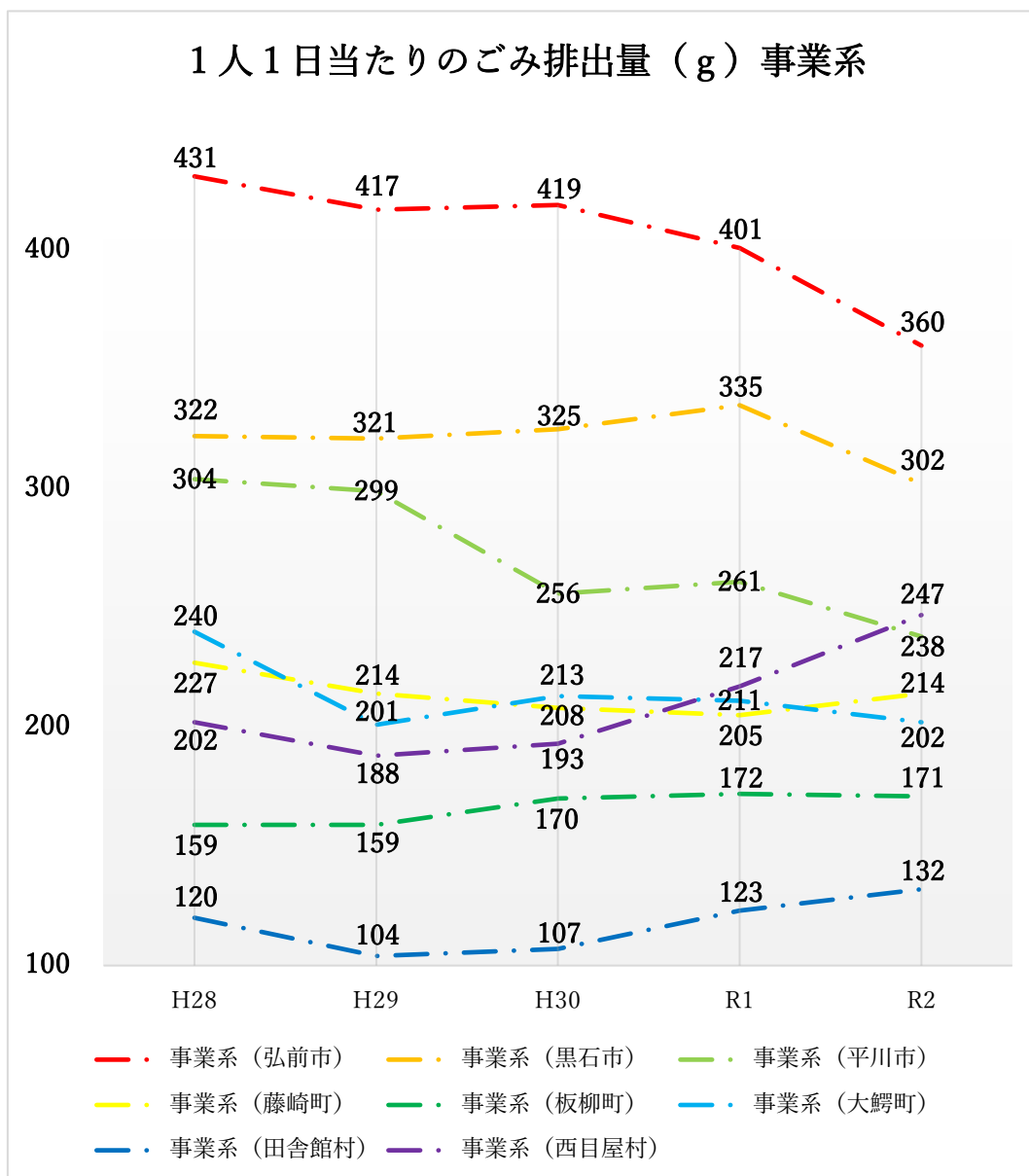
- ・藤崎町が最も多いが、近年の減少幅が大きく、差が縮まっている。
- ・弘前市、西目屋村は減少傾向で推移していたが、コロナ禍の影響を受けてか、令和2年度は増加に転じている。
- ・黒石市、平川市、板柳町、大鰐町、田舎館村は増加傾向で推移している。

#### 参考情報

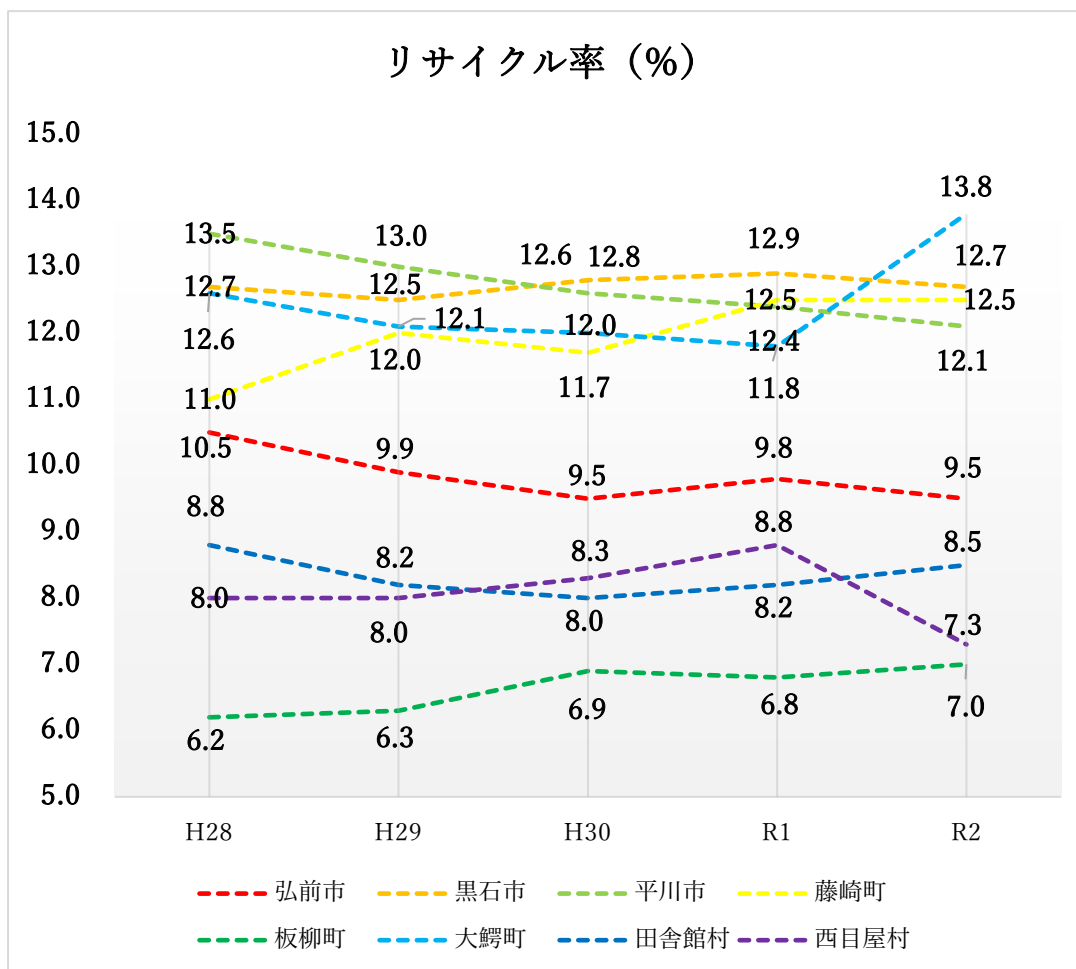
ごみ有料化：黒石市、平川市、板柳町、大鰐町

ごみ指定袋：藤崎町(旧常盤村)、田舎館村

特になし：弘前市、藤崎町(旧藤崎町)、西目屋村



- ・弘前市、平川市、大鰐町は減少傾向で推移している。
- ・黒石市は増加傾向にあったが、コロナ禍の影響を受けてか、令和2年度は減少に転じている。
- ・藤崎町、板柳町、田舎館村、西目屋村は増加傾向で推移している。
- ・弘前市と黒石市が多く、他と開きがある。他は街の規模に比例した数字となっていない(平川市よりも西目屋村が多いなど)。



- ・概ね横ばい又は微減傾向で推移している。
- ・大鰐町が最も高いが、肥料化やスラグ化などの特別な資源化はなく(プラスチック容器的の収集もなし)、ごみ排出量の少なから、リサイクル率が高くなる傾向が出ている。

#### 参考情報

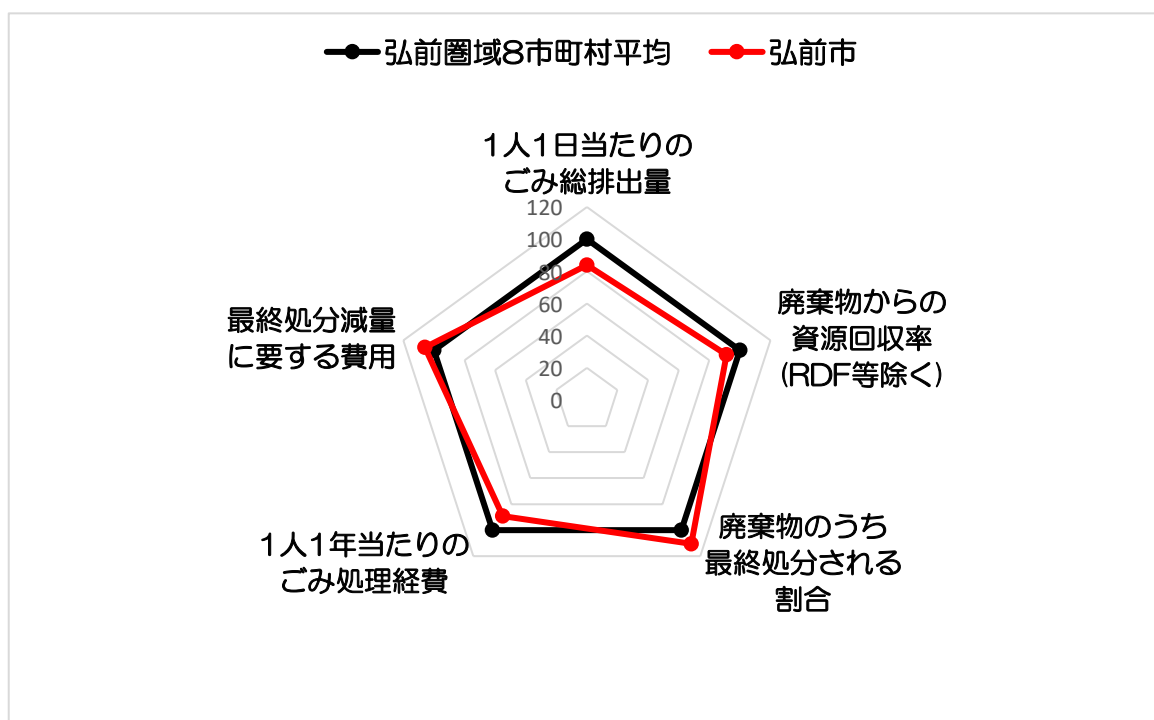
プラスチック容器的の収集あり: 黒石市、平川市、藤崎町、田舎館村

プラスチック容器的の収集なし: 弘前市、板柳町、大鰐町、西目屋村

## 2. 市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツールによる比較

環境省が公表している「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」を用いて、令和2年度のごみ処理状況について、弘前圏域8市町村平均との比較評価を行った。

標準的な指標	1人1日当たり のごみ総排出量	廃棄物からの 資源回収率 (RDF等除く)	廃棄物のうち 最終処分される 割合	1人1年当たり のごみ処理経費	最終処分減量 に要する費用
	(g/人・日)	(t/t)	(t/t)	(円/人・年)	(円/t)
弘前圏域平均値(R2)	925	0.104	0.143	12,082	40,049
〃 最大	1,074	0.138	0.191	15,645	51,672
〃 最小	822	0.085	0.086	8,833	32,757
弘前市実績(R2)	1,074	0.095	0.128	13,401	37,706
〃 指数値	83.9	91.3	110.5	89.1	105.9
値の見方	指数値100が平均であるため、指数値が100を超えると良好な状態となる。				



- ・1人1日当たりのごみ排出量の指数値が 83.9 と少し低いものの、概ね圏域市町村の平均値と近い数値となっている。
- ・最終処分減量に要する費用は、埋立処分場の有無で差が出る傾向にある。

### 参考情報

埋立処分場あり: 弘前市、平川市、板柳町、黒石地区清掃施設組合